令和7年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【宮原中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	期末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	【学習上の課題】 国語の「話すこと・聞くこと」において、正解率が低くなっている。 【指導上の課題】 生徒が反復・習熟する時間設定が不十分である。自立した学習者の育成を目指す。	⇒ 「ドリルパーク」等を活用し、基本的事項の徹底に取り組む。【週に1度の実施】また、個に応じた支援をして、協働的に学び合う場の充実を図っていく。【月に1度の実施】、「スタディサプリ」も活用し宿題配信により個人で学習に取り組めるようにする。【学期に1度の実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 数学、英語で「思考・判断・表現」の問題の無回答率が高い。 【指導上の課題】 問題解決に取り組む時間が不十分である。	⇒ ICT機器を有効に活用し、生徒一人ひとりの考える時間を十分に確保させるとともに、個々に考えたことを発信し、互いに学び合う場を設定していく。「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を活用し、基本的事項の反復・習熟を行う。【毎回の授業で実施】【R7年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な解答の割合が85%以上】

<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・進捗の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)